
第8回日本光合成研究会公開シンポジウム

大学院教育改革支援プログラム「ものから生体をつなぐ物質科学者養成」共催

光合成を支える多様な分子システム

2008年5月30日～31日(名古屋大学 野依記念学術交流館)

5月30日(金)

13:00-13:10 伊藤繁(日本光合成研究会会長)はじめに

セッション1:光を情報として使う!

13:10-13:35 岡島公司(大阪府大)「フォトリポピンはどのようにして青色光を生体内シグナルに変えるのか?—LOVドメインによるキナーゼ活性制御機構—」

13:35-14:00 吉原静恵(大阪府大)「赤・遠赤色光可逆反応を青・緑色光可逆反応に作りかえるフィトクロム;シアノバクテリアクロム」

14:00-14:25 福島佳優、伊藤繁(名大理)、成川令、池内昌彦(東大、総合文化)「BLUFタンパク質と赤-緑シアノバクテリアクロム:構造と反応—何を知りたいのか?」

休憩

14:45-15:10 松下智直(九大)「植物の主要な光情報受容体フィトクロムBの細胞内シグナル伝達機構の解析」

15:10-15:50 木下俊則(名大)「気孔孔辺細胞における青色光シグナル伝達系の解析」

休憩

16:20-17:20 ポスタートーク

休憩

18:00-18:30 総会

18:45-21:00 懇親会

5月31日(土)

9:00-9:15 ポスター表彰

セッション2:クロロフィル代謝系

9:15-9:40 小池裕幸(兵庫県立大)「ラン藻のクロロフィル8位ビニル基還元に必要なタンパク質」

9:40-10:05 草場信(東大)「メンデルとクロロフィル分解を制御する遺伝子ネットワーク」

10:05-10:30 栗栖源嗣(東大)「光非依存型(暗所作動型)プロトクロロフィリド還元酵素の構造解析」

休憩

セッション3：光合成を支える生理機能

11:00 – 11:25 榊原均（理研）「サイトカイニン代謝経路の解明と無機栄養による制御機構」

11:25 – 11:50 高橋秀樹（理研）「植物における硫黄代謝制御の分子機構」

11:50 – 12:15 中西啓仁（東大）「鉄の取り込みと体内移行」

12:15 – 12:45 大岡宏造（阪大）・藤田祐一（名大）「光合成細菌から見る植物型光合成：いま、なぜ光合成細菌か？」

12:45 – 13:00 総合討論 これからの光合成研究

閉会

オーガナイザー：鹿内利治（京大）・藤田祐一（名大）・大岡宏造（阪大）

昨年同様、優秀ポスター賞を互選します。沢山のポスター発表申し込みをお待ちします。

参加ご希望の方は、事前登録をお願いします（当日参加も受け付けます）。ポスター発表申し込みは、電子メールで発表者・演題をご連絡ください（締切り5月16日）。ポスター発表は、会員に限らせていただきます（その時点でご登録いただければ可能です）。

参加費は無料。懇親会費は、一般 3000円、学生 2000円を予定しています。

参加・ポスター申込先：藤田祐一（fujita@agr.nagoya-u.ac.jp）

<参加申し込み票>

氏名：

所属：

連絡先：

懇親会参加希望： 有 無

ポスター発表希望： 有 無

ポスター発表者（所属）：

ポスタータイトル：
